

# 一般質問通告者一覧表（9月7日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
1	貞岩 敬	1	学校教育について	(1) 理科教育の取り組みについて 本市の大学や企業、研究機関等と連携し、理科教育を充実させるための取り組みがすすめられています。科学の芽育成講座の実施や理科観察実験アシスタントの配置、宇宙科学講座として「ひがしひろしまスペースクラブ」の実施や東広島天文台観望会の開催、さらには今年度より始まった理系・イノベーション講座などが行われています。	市副市長 教育長 担当部長	35分	
				ア			科学の芽育成講座は、すべての小中学校を対象として実施されていると思いますが、児童生徒の理科に対する学力の向上や学習意欲の向上を把握できているのでしょうか。現状をお示してください。
				イ			宇宙科学講座は参加人数を絞って実施されていますが、そこで学習した内容を自分の学校で敷衍させる取り組みなどは行われているのでしょうか。
				ウ			今年度より始まった理系・イノベーション講座について、どのような効果が期待できるのか、お示してください。
				(2) 教員の勤務状況について 平成28年に文部科学省によって実施された教員勤務実態調査の集計で、看過できない教員の勤務実態が明らかとなりました。学校における働き方改革について、中央教育審議会で議論が行われ、平成31年1月に答申が取りまとめられました。文部科学省は教員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進めるように示しました。さらに、先日報じられたことによりますと、文部科学省は教員の事務作業などを支援する「スクールサポートスタッフ(教員業務支援員)」の人員費補助を、来年度は倍増する方針とのことです。			
				ア			本市の学校における働き方改革の現状をお示してください。
				イ			教員が児童生徒にかかわる時間は増えているのでしょうか。その効果が示されるものがあればご教示ください。
				ウ			学校支援センターが設置されて1年半が経過しようとしています。どのような効果があがっているのか、お示してください。また、課題等があればお示してください。
				2			マイクロンの巨額投資に対する本市の姿勢について
				(1) マイクロンの巨額投資に対する本市の姿勢について 本年5月、マイクロンが本市の広島工場に今後数年で最大5,000億円の投資をすることが発表されました。その記者会見の中で、市長は「大学や地元企業などと連携し、マイクロンの発展に向けた環境整備を図りたい」と述べられています。			
				ア			「マイクロンの発展に向けた環境整備」とは、具体的にどのようなことを想定されておられるのでしょうか。ご所見をお聞かせください。
				イ			マイクロンの周辺地域つまり吉川地域において、都市整備などを進めていくお考えはありますでしょうか。ご所見をお聞かせください。
				3			市制施行50周年について
				(1) 市制施行50周年について 2024年4月に市制施行50周年を迎えます。50周年を迎えることができるのは、市民の皆様のおかげと考えます。			
				ア			市制施行50周年を迎えるにあたって、市民の皆様になにか還元していくことは考えておられますでしょうか。見解をお聞かせください。
イ	市制施行50周年を、多くの市民や本市にゆかりのある方々と一体となって祝福するため、市民、企業、各種団体等が主催するイベント等について、市とともに記念事業を盛り上げようとする取り組みを、「東広島市制施行50周年記念協賛事業」として募集されようとしています。これらの事業について、財政的支援は想定されておられますでしょうか。見解をお聞かせください。						

# 一般質問通告者一覧表（9月7日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
2	片山 貴志	1	医療機関の充実について		市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 局 長	35分	
			(1) 医師の高齢化等に伴う医療機関の今後の不足について 本市において、40年ぶりに分娩施設を備えた産婦人科が、新たに開院されたが、長年地域に貢献されてきた分娩ができる産婦人科である2医院が閉鎖される予定である。 人口が増加している東広島市だけでなく、近隣の市町の医療機関の不足により、本市の医療機関への需要は高まる一方である。				
			ア	医師の高齢化などにおける病院の減少に対する本市の見解を問う			
			イ	分娩できる産婦人科の閉鎖における、本市の対策を問う			
			ウ	分娩できる産婦人科や今後不足が見込まれる医院の誘致に向けての優遇策などの検討について問う			
			エ	本市の未来を見据えた、市民病院の新設などの検討について問う			
			2	商工業の発展について			
		(1) 東広島市産業用地確保基本計画について 令和2年に策定された東広島市産業用地確保基本計画では、東広島市の地域特性から戦略と方向性を設定し、3種類の方針を定めている。		ア	地域イノベーション推進型の進捗と課題について問う		
		イ	サプライチェーン革新支援型の進捗と課題について問う				
		ウ	地域産業振興型の進捗と課題について問う				
		エ	地域未来投資促進法による広島県との連携について問う				
		(2) 本市におけるコンベンションホールの不足について 昭和57年4月より本市にてブライダルやセレモニーそしてコンベンションホールとして貢献されてきたグランラッセ東広島(旧東広島平安閣)が、本年11月末日をもって閉館される。東広島市最大の収容人数とホール数があり、多種多様な式典を行ってきた施設である。 この閉館により、結婚式や同窓会そして会議や品評会など、本市以外での開催となる可能性もあり、関連する産業の経済効果の減少にも繋がる。		ア	この問題について本市としての見解を問う		
		イ	この問題について本市としての対策を問う				
		ウ	大規模なコンベンション機能を備えたホールの必要性について問う				
		3	ネーミングライツによる施設の修繕や団体支援について				
		(1) スポーツ施設へのネーミングライツについて 本市では、スポーツ施設も多く、スポーツが身近にあり、様々なスポーツ団体が活躍されている。子ども達のスポーツ団体も、全国レベルで活躍されている。遠征費や備品などの子育て世代の負担増を軽減するためにも、地域の企業と連携したネーミングライツによる収入を施設の維持修繕費やスポーツ団体への補助として活用できるのではないかと考える。		ア	子育て世代のスポーツ活動にかかる負担増について問う		
		イ	施設の老朽化や更新のための、維持修繕費用について問う				
		ウ	スポーツ施設へのネーミングライツの活用について問う				
		(2) 芸術や文化施設へのネーミングライツについて 本市では、様々な芸術文化を引き継いでいる団体が数多くある。芸術文化ホールくららを中心とし、生涯学習センターや地域センターそして集会所などで、活動を続けられている。 ネーミングライツを活用し、修繕費や活動費の補助などに充てることはできないかと考える。		ア	維持修繕費および備品の更新費などについて問う		
		イ	芸術文化団体に対する支援について問う				
		ウ	芸術文化施設へのネーミングライツの活用について問う				

# 一般質問通告者一覧表（9月7日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
3	木村 輝江	1		仕事と子育てを両立させるための支援の充実とは	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分
				(1) 子育てサービスについて 保育および学童保育において、待機児童や年度中途待機児童など保育ニーズを満たせていないといった問題がある。		
				ア 保育士を対象とした就職支援制度を行っているが、就職率の変化はあったのか。		
				イ ICTを活用した業務の負担軽減策の効果はあったのか。		
				ウ 放課後児童クラブの人員不足解消に向けての活動は何があるのか。		
				エ 放課後児童クラブの長期休み期間の昼食の提供実現に向けた市の意見を伺う。		
(2) 働く女性の応援について 多くの女性が子育てを理由に望まないキャリア選択をしている現状がある。子育て支援施策の充実が必要ではないか。						
ア 男性の育児参画および働き方改革でジェンダーギャップの解消につながるのか市の意見を伺う。						

# 一般質問通告者一覧表（9月7日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間		
		項目	細目	詳細				
4	谷 晴美	1	平和行政の推進について		市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 局 長	35分		
			(1)	平和行政の推進について ウクライナとロシアの戦争が終結せず先の見えない中、先の太平洋戦争の教訓を東広島市に生かし、市民の不安解消を図る必要がある。				
				ア			広島・長崎の被爆から78年目。核兵器廃絶運動と被爆者へのより一層の支援が重要と考えるが、市としての見解を伺う。	
				イ			「安保三文書」のもとで、自衛隊員の募集業務をめぐる国の地方自治体への働きかけが以前にもまして強くなってきている。本市の対応を伺う。	
		2	汚染水対策について					
			(1)	汚染水対策について 安芸津町木谷地区の産廃処理場建設問題について反対住民の声に本市も対応すべきと考える。				
				ア			庄原市では産廃処理場の進出先の土地を買い取り、公園にしている事例がある。本市も同様な対応をすべきと考える。所見を伺う。	
				イ			水源を守るために、水源保護条例を制定する必要があると考える。所見を伺う。	
			(2)	「PFAS」問題について 東京の多摩地区などの米軍基地での泡消火剤や半導体製造過程でも使用されている「PFAS」という汚染物質が環境汚染問題になってきている。本市にも米軍基地や操業している半導体製造工場があり、よそごとではなく市は対応する必要がある。				
				ア			河川や水道・下水道の調査、人体への調査をしてその結果を公表すべきと考える。市の対応を伺う。	
		3		国民健康保険税の引き下げについて				
		(1)	国民健康保険税の引き下げについて 今年は税の見直しが協議されているようである。市民生活は物価高・燃料高に苦しむ中、対応がもとめられている。					
			ア	子どもの均等割を18歳までなくし、子育て世帯を応援する必要がある。市の所見を伺う。				
			イ	基金や一般会計からの繰り入れをして、国民健康保険税を引き下げ、市民の生活に寄与すべきと考える。市の所見を伺う。				

# 一般質問通告者一覧表（9月7日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間		
		項目	細目	詳細				
5	中川 修	1	安全・安心な市民生活の実現について		市副市長 教育担当部長	35分		
			(1)	交通事故対策について 市民の安全・安心な生活を実現する上で、交通事故対策も重要な課題であると捉える。交通事故のない社会の構築に向けた取組として、「交通安全意識の醸成による交通ルールの徹底などの啓発活動の推進」や「運転技能が低下した高齢者の免許返納の推進」を挙げられているが、ハード対策の推進も重要と捉える。				
				ア			歩行者の安全対策として、横断歩道を渡る時、中々車が止まってくれない、車の運転手が歩行者の認識が遅れるなど様々な要因がある。信号機の設置要望は数多くあるが、全ての要望個所に設置は難しいことから、注意喚起を行う装置の活用も対策の一つと考えるが所見を問う。	
		イ	運転技能が低下した高齢者の免許返納については、事故防止の観点から必要なことではあるが、家庭の事情や地域によっては免許返納をためらう方もおられると思う。自動車の運転を長く継続できるような施策が必要と考えるが所見を問う。					
		2	循環型社会について				市副市長 教育担当部長	35分
			(1)	循環型社会の構築について 東広島市、竹原市及び大崎上島町の2市1町で設置した広島中央環境衛生組合の運営に係る経費を負担し、処理施設の維持管理を共同で行いながら、一般廃棄物の減量化と資源化を図るための各種施策を講じているが、減量化の目標値である一般廃棄物850gの根拠を明確にし施策を推進することが重要と捉える。				
ア	一般廃棄物目標値の、850gの考え方、根拠について問う。							
イ	コンポスト等を活用した水分量削減で、ごみの重量としてはどのくらいの削減につながると考えているのかを問う。							